

対談

前立腺がんで苦しむ人を減らしたい

NPO法人 前立腺がん啓発推進実行委員会(PCEC-Japan) 発足

増加の一途をたどる前立腺がんに対する「早期発見・適切治療」の大切さを社会に浸透させるべく、5月22日にNPO法人 前立腺がん啓発推進実行委員会(PCEC-Japan)が設立されました。早期発見に必須である血液検査「PSA検査」の受診率を高めるなどして、前立腺がんでは死なない社会の実現に寄与することを目的に活動を広げる同法人。設立の中心となった深貝隆志理事長と、山中英壽副理事長にお話をうかがいました。

「早期発見・適切治療」の思いを全員が共有

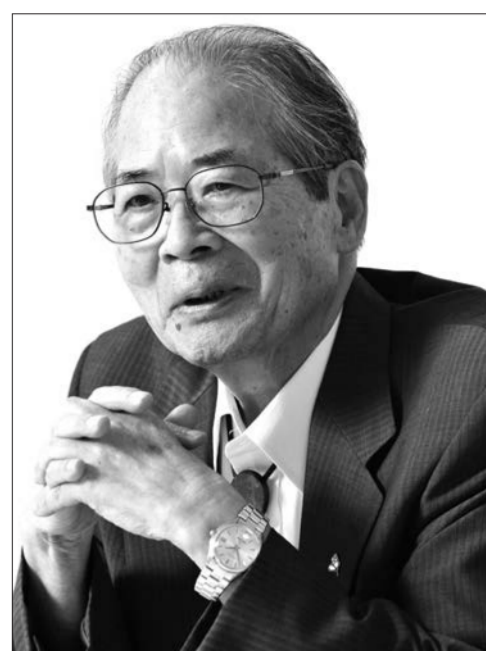
わが国の前立腺がんの現状は。

山中 国立がん研究センターの最新予測では、罹患数が男性がんの中で第1位になるとされています。グラフ参照。通常の血液検査で前立腺がんを早期発見できるPSA検査は多くの自治体検診に取り入れられていますが、その受診率は低いのが現状です。

深貝 これまでの予測では、第1位になるのは2025年でした。それが著しく早まったことからも分かるように、増加の一途をたどっています。

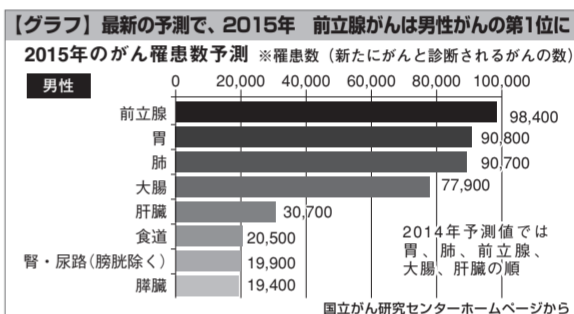
山中 早期発見できれば、確立された複数の治療法から患者さんに合ったものを選択でき、早く見つかるほど治療の選択肢も増えます。だからこそPSA検査で早期に見つけましょう、ひいては日本を前立腺がんで死なない国にしましょう、と力を込めて伝えたいのです。

深貝 進行が遅いがんといえ、転移すると完治は難しい。前立腺がんで苦しむ患者さんをこれ以上増やさないため、前立腺が



医療法人 社団美心会 黒沢病院院長
群馬大学 名誉教授
NPO法人 前立腺がん啓発推進実行委員会副理事長
山中英壽 先生

●1964年群馬大学医学部卒業。69年群馬大学大学院医学研究科修了。69年大阪大学蛋白質研究所共同研究員。72年～74年米国ニューヨーク州Roswell Park Memorial Instituteで研究員、上級研究員。84年～2004年群馬大学医学部教授(泌尿器科)。04年から群馬大学名誉教授。2003年朝日がん大賞を受賞。



んの知識啓発、PSA検査の普及促進が、このたびのNPO法人前立腺がん啓発推進実行委員会(PCEC-Japan)を立ち上げたのも、そんな思いが背景にあります。

山中 開催を重ねるにつれ、「仲間」の輪は広がり、昨年は全国20の医療機関で9月～10月を中心に啓発イベントを実施。日本における「前立腺がん啓発週間」と呼ぶにふさわしい規模まで成長しました。

深貝 日本でも、米国におけるPCECのような民間組織が輪の中心でリーダーシップをとれば、今後の啓発イベントはより効率的に進みます。こうした経緯もあり、NPO法人 前立腺がん啓発推進実行委員会を設立したので



過去の「前立腺がん啓発週間」実施の様子。2011年、実験的に始まった啓発イベントは順調に輪を広げ、今年全国に定着。同イベントを通じて初めてPSA検査を受けた人も多い

今後の活動の展望は。

深貝 これまで私たちが展開してきた啓発活動に関心を示す泌尿器科医は増えていますが、日常診療しつつ、啓発イベントの準備をするのは大きな負担です。まずは「啓発活動がしたい」と新規に手を挙げてくれた施設を支援すること。これまでの活動で実施ノウハウは法人内に蓄積されていますので、共有できます。

山中 北海道から九州まで、泌尿器科

医師のトップクラス総勢19人の先生方が法人メンバーに名を連ねてくれました。全員に共通するのは「前立腺がんを早期発見し、適切治療を！」の熱い思い。各自が積み重ねてきた実績とネットワークで、日本国中に啓発メッセージを広められると期待しています。

深貝 優れた先生方の知識を結集し、患者さんが様々な知識を得られるホームページの開設も予定しています。

山中 今年も9月から「前立腺がん啓発週間」を実施します。そこには新規参加施設も見込まれますが、施設の背丈に合った活動が無理なく行えるよう、私たちもアドバイスは惜しみません。

—日本の前立腺がん医療においてどのような役割を果たしますか。

山中 男性がんで第1位になるとの予測にもかかわらず、前立腺がんは国が



昭和大学江東豊洲病院 泌尿器科教授
NPO法人 前立腺がん啓発推進実行委員会理事長
深貝隆志 先生

●1986年昭和大学医学部卒業、同大学院外科系泌尿器科学入学。90年卒業(医学博士)。昭和大学医学部泌尿器学講座助手、講師、准教授を経て2014年3月から現職。現在は日常診療において小線源治療、ロボット支援手術を専門とし前立腺がんの「適切治療」を実践する一方、「早期発見」を目指しPSA検査の普及活動を行っている。日本泌尿器科学会専門医、指導医。前立腺シード研究会世話人。日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医。日本がん検診・診断学会がん検診認定医。

市民サイドに立った前立腺がんの専門集団へ

提唱する「5大がん」に含まれません。これまでの啓発活動を通して目の当たりしてきた患者さんの切実な悩みや現状を踏まえた提言を、国に対して行っていきます。

深貝 前立腺がんがあまり



がんの治療を、
その人「らしい生活」のなかで。
アストラゼネカ オンコロジー

アストラゼネカ株式会社
〒530-0011 大阪市北区大深町3番1号 <http://www.astrazeneca.co.jp/>
アストラゼネカは新薬開発をリードする世界的な医薬品企業です。 2014年4月作成

～前立腺がんで、死なない社会を実現するために～ NPO法人前立腺がん啓発推進実行委員会(PCEC-Japan)はこの秋、 全国の医療機関で前立腺がん啓発の活動を行います。

参加医療機関では、前立腺がんの基本的知識を説明する活動などを実施する予定です。実施内容など詳細の確認、お問い合わせは <http://pcecjapan.wix.com/week>

札幌医科大学(北海道札幌市) [実施日] 未定 ※決定次第、PCEC-Japanのサイトでお知らせ [問い合わせ] e-mail: uroikai@sapmed.ac.jp	黒沢病院附属ヘルスパーククリニック(群馬県高崎市) [実施日] 10月2日(金) [問い合わせ] Tel: 027-352-1111 (企画推進部)	伊勢崎市民病院(群馬県伊勢崎市) [実施日] 10月14日(水) [問い合わせ] Tel: 0270-25-5022 (医療サービス課地域医療連携係)	古作クリニック(群馬県伊勢崎市) [実施日] 10月19日(月)～24日(土) [問い合わせ] Tel: 0270-25-3000 (古作クリニック本院受付)	国立病院機構埼玉病院(埼玉県和光市) [実施日] 9月24日(木)、25日(金) [問い合わせ] Tel: 048-462-1101 (泌尿器科外来を呼出。平日15時～17時)
昭和大学江東豊洲病院(東京都江東区) [実施日] 10月4日(日)～10日(土) [問い合わせ] Fax: 03-6204-6998 e-mail: toyouso-uro@med.showa-u.ac.jp	JCHO東京新宿メディカルセンター(東京都新宿区) [実施日] 11月7日(土) [問い合わせ] Fax: 03-3260-7840 (総務企画課)	日本医科大学(東京都文京区) [実施日] 12月13日(日) [問い合わせ] Fax: 03-5685-1794 (泌尿器科/腎臓病診療科) e-mail: nms-psa@nms.ac.jp	慶應義塾大学病院(東京都新宿区) [実施日] 10月25日(日) [問い合わせ] 03-5363-3877 (直通)	湘南東部総合病院(神奈川県茅ヶ崎市) [実施日] 10月3日(土) [問い合わせ] Tel: 0467-83-9111
横浜市立市民病院(神奈川県横浜市) [実施日] 9月13日(日) [問い合わせ] Tel: 045-331-1961	済生会横浜市東部病院(神奈川県横浜市) [実施日] 9月13日(日) [問い合わせ] Tel: 045-576-3546 (地域医療連携室)	佐久総合病院(長野県佐久市) [実施日] 10月17日(日) [問い合わせ] Tel: 0267-82-3131	金沢大学附属病院(石川県金沢市) [実施日] 11月1日(日) [問い合わせ] Tel: 076-265-2390 e-mail: urology@med.kanazawa-u.ac.jp	関西医科大学(大阪府枚方市) [実施日] 未定 ※決定次第、PCEC-Japanのサイトでお知らせ [問い合わせ] Tel: 06-4799-0156 (平日10時～17時)
奈良県立医科大学(奈良県橿原市) [実施日] 2016年2月28日(日) [問い合わせ] Tel: 0742-36-8710	高知大学(高知県南国市) [実施日] 未定 ※決定次第、PCEC-Japanのサイトでお知らせ [問い合わせ] Tel: 088-880-2402 (高知大学泌尿器科)	福岡市泌尿器科医会(福岡県福岡市) [実施日] 9月12日(土) [問い合わせ] Tel: 092-282-5903 (市民公開講座事務局)	長崎大学(長崎県長崎市) [実施日] 11月15日(日) [問い合わせ] Tel: 095-819-7340 (長崎大学病院泌尿器科)	

前立腺がんって何?.....

◎前立腺がんは、男性特有のがんです

▶前立腺とは、男性だけが持っている臓器で、膀胱のすぐ下にあり、尿道を取り囲むように位置しています。

▶特に前立腺がんのリスクが高まるのは50歳以上から。治療がすぐに必要な段階にまで大きくなって、ほとんどの方は症状が出ないため、気づくことはありません。

前立腺がんは怖い病気なの?.....

◎前立腺がんは、近年日本で急増しています

▶2015年時点の予測では9万8400人が新たに前立腺がんと診断され、男性がんの中では胃がんを抜いて第1位となっています(国立がん研究センター調べ)。

▶2015年時点の予測では1万2200人が前立腺がんで亡くなるとされ、2025年にはその数が1万5000人を超えると予想されています。

どうすればいいの?.....

◎前立腺がん早期発見には、PSA検査が役立ちます

▶PSA検査はごく少量の血液があれば測定が可能で、通常の血液検査と合わせて簡単に行うことができます。

▶PSA検査を受けることで、前立腺がんの早期発見の可能性が高まり、治療の選択肢が増えます。

Blue Clover Campaign
 パパの明日を、まもりたい。

ブルークローバー・キャンペーンは、NPO法人前立腺がん啓発推進実行委員会が実施する前立腺がん啓発活動を応援しています。
<http://www.asahi.com/blueclover/>

【主催】ブルークローバー・キャンペーン運営委員会(朝日新聞社広告局) 【後援】公益社団法人日本人間ドック学会、NPO法人前立腺がん啓発推進実行委員会、公益財団法人前立腺研究財団、一般社団法人日本がんフーズ機構 【協賛】アストラゼネカ株式会社、日本メジフィジクス株式会社、ベックマン・コールター株式会社 【協力】株式会社メディオン